

平成26年度 やまゆり保育所事業報告

1. 年間入所児童数

年齢	男児	女児	合計
2歳児	2	3	5
1歳児	2	0	2
0歳児	3	1	4
計	7	4	11

2. 年間保育日数

月/日数		月/日数		月/日数	
4月	25日	8月	26日	12月	23日
5月	24日	9月	24日	1月	23日
6月	25日	10月	26日	2月	23日
7月	26日	11月	23日	3月	25日
合計					293日

・保育時間(通常保育 7:00~18:00、延長保育 18:00~19:00)

3. 主な保育所行事

月	日	行 事	内 容	参加人数
4	1	平成26年度保育開始	通常保育開始	
	17	避難訓練	避難笛の合図を知る・避難の仕方を知る。	児3名
5	7	子ども会	子供の日の由来を知る。こいのぼりの製作や歌を歌う。	児3名
	8	交通安全教室	歩道の歩き方を知る。信号の見方を知る	児3名
	12	避難訓練	火災想定にて避難訓練実施	児3名
	13	歯科検診	歯科医師による検診受診	児3名
5	14	蟻虫卵・尿検査	ピンテープによる検査及び尿採取	児3名
	15	内科検診・眼科検診	小児科医による検診	児3名
	16	保育参観	親子製作・親子ふれ合い遊び	児3、保護者3
	27	誕生会	5月生まれの子の誕生を祝う	児4名
6	9	防犯教室	紙芝居などを用い、不審者には付いて行かない等を知る。	児4名
	20	避難訓練	地震想定避難訓練	児6名
7	7	七夕会	七夕の由来を知り、短冊に願いを書き笹飾りに飾る。	児6名
	18	避難訓練	台風想定避難訓練実施	児8名
	25	じゃがいも掘り	植える・育てる・収穫するまでの工程をすることで食育や自然を育む。	児8名
8	5	防犯教室	不審者が侵入しようとしていると想定避難訓練	児8名
	7	ミニ夏祭り	親子参加(ゲーム遊びやゆめだかすくい、模擬店ごっこをして焼きそばやかき氷・とうもろこしと一緒に食べた。	児8、保護者9
	19	避難訓練	周辺建物火災想定避難訓練実施	児5名
9	12	誕生会	9月生まれの子どもの誕生を祝う	児7名
	16	交通安全教室	横断歩道の渡り方を知る。信号の見方をおさらいする。	児9名
	22	避難訓練	予告なしで実施(竜巻想定で避難訓練を実施)	児9名
10	3	誕生会	10月生まれの子どもの誕生を祝う。	児11名
	9	蟻虫卵検査	ピンテープ検査実施	児11名
	15	ミニ運動会	リズム体操・リレー・障害物・ボールころがし等	児11名
	15	避難訓練	火災想定避難訓練実施(消防車見学と記念撮影)	児11名
	25	村祭り(25~26日)	親子合作作品の展示	児11名
11	6	保育参観	親子で製作遊び、ふれ合い遊び。	児10、保護者8
	10	防犯教室	川俣警察署員による指導	児10名
	13	内科検診	小児科医による検診を実施	児9名
	17	歯科検診	歯科医師による検診を実施	児10名
	18	避難訓練	地震・火災想定避難訓練実施	児9名
12	12	避難訓練	地震想定避難訓練実施	児7名
	24	クリスマス会	サンタクロースからプレゼント。ケーキを食べてお楽しみ会をする。	児10名
1	14	誕生会	1月生まれの子どもの誕生を祝う	児10名
	14	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児10名
2	3	豆まき会	節分の由来を知り、鬼のお面の製作。	児10名
	12	誕生会	2月生まれの子の誕生を祝う	児10名
	17	避難訓練	火災想定避難訓練実施	児10名
3	3	ひなまつり会	ひなまつりの由来を知り、ひな人形製作等を楽しむ。	児9名
	16	避難訓練	一年間訓練したことを紙芝居や絵を見ながらおさらいをする。	児9名
	24	お別れ会	平成26年度に修了する子たちとお別れ会。保育士手作りのメダル等のプレゼント。	児9名
	27	修了式	修了証書授与・思い出のスライド・記念品や花束のプレゼント。	児5名
	31	平成26年度保育終了		

・四季折々の行事を行い、一年間の移り変わりやその由来を知らせ、感謝の気持ちや日本の伝統を継承できるよう心掛けてきた。

4. 会議報告

① 職員会議

月 日	内 容
4/22	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・保育参観について
5/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・
6/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会
7/23	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・ミニ夏祭りについて
8/22	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・県書類監査提出について
9/30	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・村祭り作品展示参加について
10/27	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・保育参観について
11/21	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会
12/24	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・年末年始について
1/28	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・来年度入所児募集について
2/25	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式について
3/27	入所児動向・保育の改善事項等・勉強会・修了式の反省・新年度準備

- ・ 毎月、保育の改善事項の確認を行う。9月より0歳児の入所に伴いクラス分けをしたことで、クラス毎の状況とケース会議を実施。また、勉強会では、「子ども・子育て支援制度」を中心に行ってきた。

② 給食会議

内容：先月の改善事項の確認・今月の改善事項について・各クラスの食事状況・厨房及び栄養士からの状況報告等・行事食について・その他

- ・ 食品放射線量検査毎日実施
- ・ 保菌検査 全職員毎月実施
- ・ ノロウィルス検査(調理師)
- ・ 食品自主検査 6月・2月実施
- ・ 温度調査 年1回実施
- ・ 食育アンケートの実施(6・11月)

実施日	4/16	10/14
	5/16	11/17
	6/13	12/17
	7/15	1/21
	8/11	2/13
	9/17	3/16

- ア. 毎日提供する食品の放射能検査を実施し、安心安全な食事提供に努めてきた。
- イ. 食育アンケートを実施し、アンケートの結果を給食提供に反映できるよう努めてきた。
- ウ. 行事には、四季の食材やお楽しみメニューとし、楽しく食事ができるよう心がけてきた。

5. 安全点検・備品点検の実施

- ・ 毎月1日に安全点検実施。建物及び敷地内の点検を行い不備があった場合即対応し事故防止に繋げてきた。
- ・ 備品点検を隔週に行い、椅子やテーブル等のネジのゆるみなどを整備し事故防止に繋げてきた。

6. 個別計画・月、週案の作成

- ・ 年2回のアセスメントを実施。個別計画を作成、保育に取り組んだ。
- ・ 月・週別の計画を作成。ケース記録・経過記録の詳細記入に心掛け、成長記録を執ってきた。

7. 保護者支援

- ・ 送迎時に連絡帳を活用し、保護者が安心して預けられる保育所づくりに努めてきた。

8. 感染予防の徹底

- ・ 食事形態の工夫により偏食の改善に努めてきた。
- ・ 年間を通しての手洗いうがいの徹底を行ってきた。
- ・ 排泄介助時の衛生管理を徹底してきた。

(全体の反省)

4月保育開始時は、入所児3名からのスタートであったが、年内中には徐々に増え11名までとなった。

現在の保育士5名の状況では、11名が満床という状況であり、また、障がい認められる子や食物アレルギーの子がいることから、より一層の見守り保育が必要とされた年だった。

しかし、危機管理を徹底し、入所児の安全保育を第一とした保育に取り組んできたことにより事故なく保育できた。

平成27年度も無事故を目指し、一人ひとりに寄り添った保育に取り組んでいきたい。

1. 基本方針

震災（原発事故）に伴う影響は4年が経過した今でも状況は変わらず、将来的展望が描けない現況ではあるが、本年度の基本方針でもある「通常業務に加え、新たな財源確保（補助金等）や人材確保のための環境整備の提案等について取り組む」ことについては、事務分担による効率アップと責任ある担当事務の遂行に努めると共に、相互協力により通常業務や財源確保等はできたと思われる。ただ、人材確保については、様々な提案はできても、それを具現化することが難しく今後のテーマになると考える。

2. 具体的な内容

① 財源の維持確保

・支出の見直し

昨年と同様に、実績を基に間に合うものはそのまま活用し、余分なことと思われる支出を抑えてきた。

・収入の確保

経費を要するものに対し、民間等の助成（福祉・介護人材育成・確保支援事業等）等を活用し効果を上げてきた。

また、適正且つ納得の行く賠償請求も併せて行ってきた。

・様々な試算に心掛ける

支出する前に効果があるのか、又は、ないのか、効果があるとすれば費用対効果に見合うかどうかを試算してきた。

② 人材確保

職員不足は、財源に大きな影響を及ぼすことから、人材確保に関する職員募集（お知らせ版やハローワークに登録）をしたり、個別に声掛けをする等してきた。

③ 後方支援の役目を担う

各事業所が活動し易いように、必要とする事務的資料を作成する等、後方サポートを行ってきた。

3. その他

① その他必要時に必要な内容を伝達できるよう、適宜の勉強会を開催

各担当者が適正な事務処理ができるよう、復命書を活用し、その研修会で得たものをお互いに周知してきた。